

Digital Camera 倶楽部

MAY 2016
Vol.125

撮影モード

最近の皆さんの作品を拝見すると、それぞれに個性豊かな作品があり撮影モードも使いこなされていると思いますが、もう一度ご説明をします。

☆撮影モード

絞り優先モード

絞りを自分が決めると、その絞り値に見合ったシャッター速度をカメラが決めてくれます。

シャッター速度優先モード

シャッター速度を自分が決めると、その速度に見合った絞り値をカメラが決めてくれます。

最近のカメラにはスポーツシーン、夕焼け・朝焼け、夜景・・・などいろいろなモードが付加されていますが結果的には、シャッター速度と絞り値を組み合わせているだけなのです。

そこで、それじゃあどう選んだら良いんだ。ということになります。

その前に、皆さんはシャッターを切る前にファインダーまたはモニターに表示される情報をどのくらい確認されていますか。ほとんどの方はピントの合った点を見る程度ではないでしょうか。被写体も中央部の主役になるところが気になって、小さなゴミやクモの糸などは見落としていませんか。

シャッターを切る前にそのような細かなことと、水平垂直を気にかけてください。そして大切なことは絞り優先の場合のシャッター速度の表示・シャッター速度優先の場合の絞り値の表示を必ず確認して下さい。

この確認をしながら少しずつ設定を変えてゆくことで作品が一味も二味も変わってくると思います。

どちらのモードを選んでも同じですが、私は常に絞り優先モードにしています。10 数年前にカメラ雑誌の調査で、多くのプロが絞り優先を使っていたことを覚えています。最近はあまり紙面にみませんが、竹内敏信さんはシャッター速度優先モードを常用していたと思います。

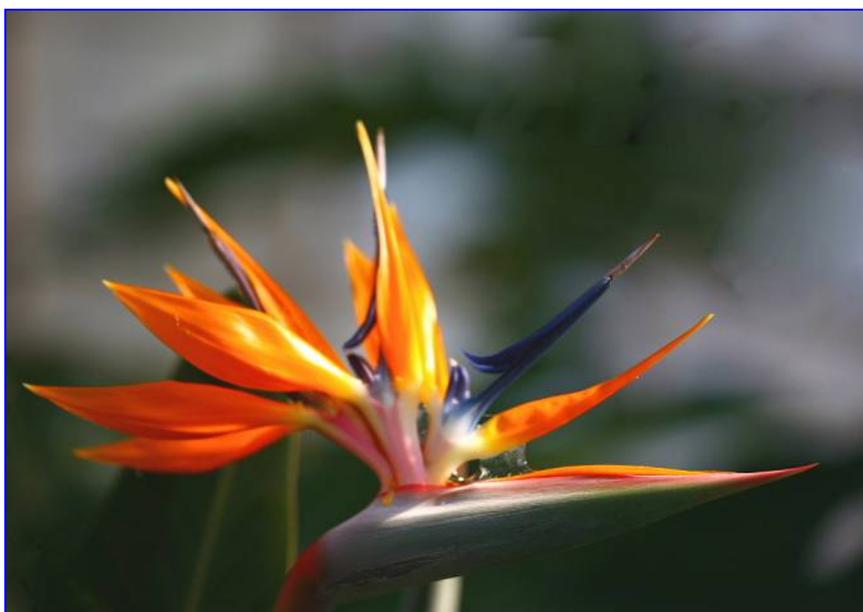
どちらを選んでも、最終的にはファインダーの中での情報を確認して行けば結果は同じになります。

なんだか雲を攫むようですが、カメラには絞り値を変えることとシャッター速度を変えることが基本なのです。

そこで、絞り値と写り方について、おさらいをしてみましょう。

絞り値を少ない方にすると絞りが開いて光が沢山入ってきます。光が沢山入ると白くなってしまいますので、ほんの少ししかシャッターを開けません。つまりシャッター速度が早くなります。

写った作品は前後がボケる作品になります。ポートレートや花のクローズアップなどに向いていますね。



では絞り値を大きくしてゆくと、絞りが絞られて光の入る穴が小さくなって来ます。ファインダーの中の情報を見るとシャッター速度は遅くなっています

写った作品は全体にピントの合った(パンフォーカス)作品になります。



別府 28 - 4月のページ

4月4日 千鳥ヶ淵、靖国神社、増上寺の撮影会の写真です。





五味淵アイ子 のページ

東京の桜を満喫
(日帰り撮影会にて)





大川のページ

春の撮影旅行



北の丸公園・千鳥が淵の桜



増上寺境内の桜



鈴木義則 のページ
千鳥ヶ淵の春

色とりどりの桜、満開の姿を水面に映す



休日でもないのにこの人ばかり、外人もかなり多い



桜の額縁に収まったボート



花筏と花見客

石垣に刻まれた寄進大名の家紋



佐藤重信
のページ



4/9 皇居は午後より太陽が
出て 絶好の桜日和となった



靖国神社



徳川家の菩提として栄えた増上寺



鈴木瑠美子 のページ

千鳥ヶ淵の春（その1）

湖面に映る桜爛漫



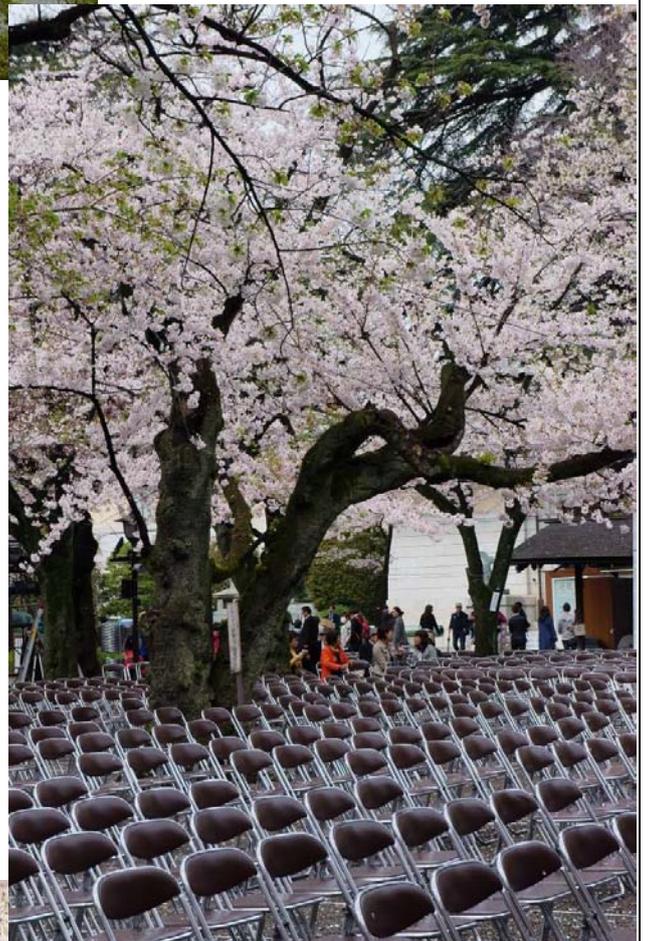
ビル群を背景に見る





小雨で貸しボートも
暇を持て余す

参拝客を待つ椅子と桜



靖国神社は参拝客で一杯